

基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 動物科学分科会（第24期・第3回）議事録

1. 日時：平成30年9月20日（木）15：00～17：00
2. 場所：日本学術会議6階 6C（2）会議室
3. 出席者：岸本健雄（委員長）、寺北明久（副委員長）、深津武馬（幹事）、倉谷滋、
小路武彦、西弘嗣、西田宏記
欠席者：大隅典子、武田洋幸、斎藤成也
4. 議事：
 - （1）提言「国立自然史博物館設立の必要性」（前期に公表）のフォローアップ
前回分科会（平成30年2月28日開催）以降の一般社団法人国立沖縄自然史博物館設立準備委員会による活動状況について、資料を用いて報告した。その内容は、7月23日に虎ノ門・笹川平和財団ビルで開催したシンポジウム「日本で初めての国立自然史博物館を沖縄に！」（同設立準備委員会、沖縄県、笹川平和財団海洋政策研究の共催）、沖縄県による「国立自然史博物館誘致基礎調査」に係る企画提案募集、10月1日に東大（本郷）で開催の生物科学学会連合シンポジウム「持続可能な社会を目指して生物科学は何ができるか～生物科学系学会のあり方を考える～」への参加予定など。
 - （2）第24期の活動方針
前回分科会に引き続き、今期の活動方針について意見交換をした。生物科学分野における共通の課題としては、博士課程進学者の減少・ポスドク及びキャリアパス・基礎研究費等が常態化しているが、本分科会独自の課題として何に焦点を絞るかについて議論した。一案としては、非モデル生物でのゲノム編集の潜在的危険性への警鐘なども挙げられた。他方、動物科学の振興を目指したシンポジウムの開催などの案も出され、次回の分科会でさらに検討することとした。